

対策項目	準備期	初動期	対応期
1 実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・組織体制の編成及び確認 ・関係機関の役割整理 ・市行動計画、業務継続計画（BCP）の作成・見直し ・研修・訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・準備期に基づき体制を構築し、迅速に対応 ・任意の市対策本部の設置、全庁的な情報共有 ・必要な人員体制の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染状況に応じた柔軟な対策体制の整備と機動的な切り替え
2 情報提供・共有、リスクコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・市民等のリテラシーの向上 ・様々な方法により分かりやすい情報提供の整理 ・偏見・差別に関する啓発 ・双方向コミュニケーション体制（相談体制等）の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・科学的根拠に基づく最新情報の迅速な発信 ・双方向コミュニケーションの開始（相談体制等の設置） ・偏見・差別、偽・誤情報への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の個人レベルでの感染対策の理解促進 ・対策の決定プロセスや理由を明確化して発信 ・初動期の対応を継続し、病原体性状に応じた対策 ・双方向コミュニケーション（相談体制等）の継続
3 まん延防止	<ul style="list-style-type: none"> ・市民・事業者への基本的感染対策（換気、マスク、手洗い等）や緊急措置（外出自粛等）への理解促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務継続計画（BCP）に基づく対応の準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民生活・地域経済への影響を考慮し、柔軟な対策への切り替え ・国及び県と連携し、患者や濃厚接触者等への対応 ・市民への基本的感染対策の徹底要請 ・学校等への臨時休業等の要請
4 ワクチン	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑なワクチン接種のための準備 ・資材等の確保方法の確認、準備 ・特定接種・住民接種の接種体制の検討・DXの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワクチン供給を受け、速やかな接種へとつなげる ・ワクチン接種に必要な資材の確保 ・接種体制の構築（会場、医療従事者確保） ・施設入所者等への接種体制等の構築 ・臨時の接種会場の準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワクチン供給量や体制を踏まえた柔軟な運用 ・ワクチンの流通・割り当ての調整 ・接種状況に応じた会場の増設 ・接種に関する情報提供・共有
5 保健	<ul style="list-style-type: none"> ・人材の確保・育成（研修・訓練） ・関係機関との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内連携による人員参集 ・必要な物資・資機材の調達準備 ・市民への相談窓口設置と速やかな情報提供の開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関が連携して感染症危機に対応 ・県が実施する健康観察や生活支援への協力 ・感染状況に応じた体制の見直しと対応の変更
6 物資	<ul style="list-style-type: none"> ・有事に必要な感染症対策物資の確保 ・感染症対策物資等の備蓄（災害備蓄と兼ねる） ・市民・事業者への備蓄勧奨 		<ul style="list-style-type: none"> ・県や関係機関と備蓄物資及び資材の供給について相互に協力
7 市民生活及び地域経済の安定の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・市民生活・地域経済安定のための体制整備 ・情報共有体制の整備 ・食料品・生活必需品等の備蓄（災害備蓄と兼ねる） ・要配慮者等の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な感染対策の準備を市民に呼びかけ ・事業者への事業継続に向けた準備要請 ・生活関連物資等の適切な購入行動の呼びかけ ・遺体の一時安置施設等の準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・まん延防止措置の影響緩和のための支援と対策 ・要配慮者等への支援の実施 ・生活関連物資等の物価安定と供給確保 ・火葬の特例措置対応